

2024 年度カトマンズ大学医学部との口腔癌共同研究

河野憲司教授と阿部史佳助教がネパール カトマンズ大学ドリュケル病院に赴き、口腔顎顔面外科教授 Chandan Upadhyaya 先生らのグループと口腔癌共同研究を行いました。

この活動は大分大学医学部国際交流事業「日本とネパールの口腔癌および口腔潜在的悪性疾患の臨床病理学的特徴の比較研究」として行われているものです。大分大学医学部とカトマンズ大学医学部の学部間姉妹提携（2018 年）に基づいて、2024 年 10 月 21 日～25 日の間、カトマンズ大学医学部ドリュケル病院で、口腔癌と口腔潜在的悪性疾患の日本人患者とネパール人患者の病理組織学的比較研究を実施しました。ネパール側の研究代表者は Chandan Upadhyaya 先生で、カトマンズ大学医学部口腔病理学教授 Pratibha Poudel 先生、カトマンズ大学カンチプル歯科大学口腔病理学教授 Dipsikha Bajracharya 先生らが共同研究者です。

今回の活動期間中に河野教授と阿部助教がカトマンズ大学医学部ならびにカトマンズ大学カンチプル歯科大学での口腔癌に関する講義（10 月 23 日、24 日）、カトマンズ大学ドリュケル病院口腔顎顔面外科での手術支援（10 月 22 日）と口腔癌患者の診察（10 月 23 日）を行いました。

また滞在期間中にカトマンズ大学医学部ドリュケル病院病院長 Manoj Humagain 先生（歯周病学講座教授）に面会して研究内容についての説明を行い、学部間提携の一層の強化に理解を求めました。今後、病理組織検体をもちいた分子生物学的研究を進める予定です。



カトマンズ大学医学部口腔病理学 Poudel 教授（左から 2 人目）、Adhikar 講師（左端）らと
ネパール人口腔癌／口腔潜在的悪性疾患患者の病理組織学的検討をおこなった



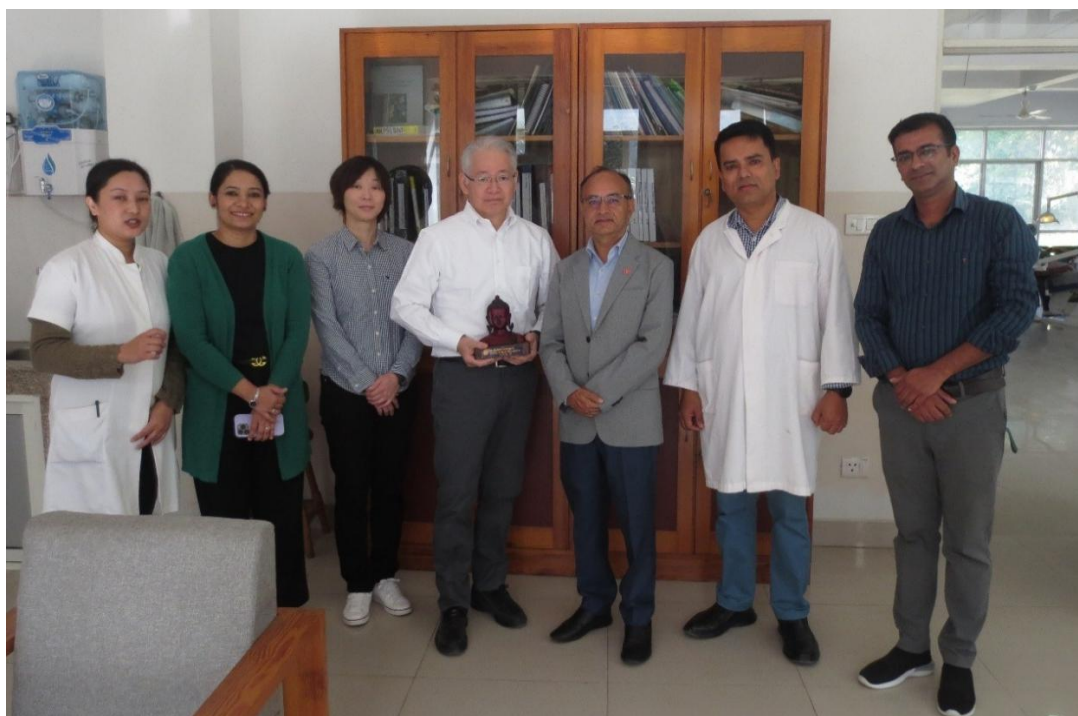
カトマンズ大学カンチプル歯科大学口腔病理学 Dipsikha Bajracharya 教授（右から 2 人目）と口腔病理学教室員とともに口腔潜在的悪性疾患の組織像について検討した



カトマンズ大学医学部口腔顎顔面外科 Upadhyaya 教授らとネパール人患者の手術を行った（右から 3 人目が河野教授）



カトマンズ大学医学部口腔顎顔面外科 Upadhyaya 教授（右から 3 人目）らと
口腔癌患者の診察をおこなった



カトマンズ大学医学部ドリュケル病院病院長 Humagain 先生（右から 3 人目）に面談



カトマンズ大学医学部にて口腔癌についての学生講義（河野教授）



カトマンズ大学カンチプル歯科大学にて口腔扁平苔癬に関する講義（阿部助教）